夕刊 磐城新聞
三月十二日發行
發行所 磐城新聞合資會社
編輯印刷兼發行人 柏木哲
福島縣石城郡平町田町十六番地
（日曜祭日翌日休刊）
振替東京一〇八九五六五番

所謂受驗勉强に就いて
教師の立場から
有世冬男

四

所謂受驗準備の最も弊害ある場合といふのは、兒童の父兄が誤つた考をもつてゐる場合です。其は父兄が兒童の能力を過信し、又は隣りの家の子も或は親戚の家の子もあの學校に受驗するから家の子もあの學校に受驗させねばならないと考へて、結局兒童の能力に相應した學校といふのではなく、單に親の勝手な都合から、その兒童の能力に比べては無理な、入學率非常に高い學校を選んで兒童に受驗させる場合。さういふ場合に最も大きな弊害を受驗準備にわたしたちは見出します。このやうは場合には兒童は最初から堪へきれない重荷を背負ふわけですから、いきほひその勉强も非常に兒童を苦しめ、又その結果も決して良いわけにはまゐりません。昔から『可愛い〻子には旅をさせよ』と申しますが、併し、このやうな旅は如何にわが子可愛い〻としても避けなければなりません。このやうなことは實際にあつてはならないことなのですが、事實としてこのやうなことが未だに都會節には特に多いといふことは充分考ふべきことよです、お體裁や義理で子供が學校へあげられたり、又そのために子供が勉强するやうでは、決して大國民は生れないでせう。受驗又は受驗勉强といふことに就きましても、他のことの場合と同樣、兒童にも正しい自覺を與へると共に、その父兄の方々も、よくいろいろな方面からこれらのことを考察して、健全な正しい態度でそのことに處することが結局最初の目的を間違ひなく達することになると思ひます（了）

雪と處女
島田忠夫

1
雪よ すんと降れ
降つて降つてつもれ
雪はお寶 農士にや惠み
可愛い處女の ソレ 肌みがく
サッサッ　サットセ

2
雪よ すんと降れ
降つて降つてつもれ
戀の關所は スキーで越にて
可愛い處女の ソレ ランデブー
サッサッ　サットセ

3
雪よ すんと降れ
降つて降つてつもれ
淨い 銀 そと踏み緊めて
可愛い處女の ソレ 思ひやり
サッサッ　サットセ

4
雪よ すんと降れ
降つて降つてつもれ
雪のスロープ 處女のこころ
戀はスピート ソレ 追ひかける
サッサッ　サットセ

贈福來小名濱築港所長
珠鑒　小野務卒

迎來廉士進工程
業日加新傳令聲
忽見巨船來去壯
多年懸案賴君成

句帳から

石佛倒れてありぬ春の山
草崩れの礎石を歩み歎へけり　蓼二
春天にいまだかたさや松の芯
朝の間の風吹く空や囀れる　扶華子
掘り上げて獨活の太さや森深し
朧夜や兵衆の畑をふみにじる
演習の兵列去りぬ朧なる　白馬

3月13日

△大楠公夫人生る（嘉元二）△菊池武將博多で討死す（元弘三）上杉謙信陣中に薨る（天正六）△イギリスの科學者プリストリー生る（一、七三三）△わが文化開發の恩人ヘバーン生る（一、八一五）

筆
永井善太郎

三

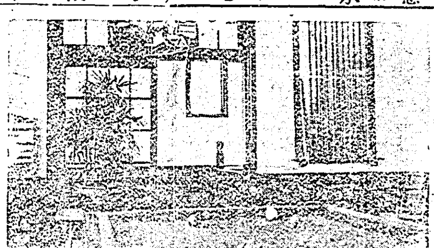
『いいえ、机の中におきます』
『さう、自分でなほせますか』
『なほせ…わ…』
寺田さんはかなり激しく、先生にぶつつかるやうな調子で答へました。先生のさつきからの態度が、何となく物足りなかつたから……です。それでも先生は
『そおう』
と仰言つたきり、考へ事をしてゐます
どこかで秋の蟬が鳴いてゐます。輕氣球がまた動かないで浮んでゐます。
寺田さんは、先生の横顔をみつめてゐるうち、淋しい氣持が爆發してきました、そして
『筆を上てはいけないの？』
と、あやふく泣き出しさうになつて言ひました
『あつはつは、どうした』
と、先生は膝の上にかかへ上げて、かすかにふるへる寺田さんの頭を撫でました。
『何？先生』
と、當番が先生の顔を覗きみました
先生は、和多田さんの机のふたを開けたからです
『何でもないよ』
と先生は、中から筆箱を取りだしました
さびたブリキの筆ばこのなかには小指程の鉛筆がたつた二本あつたばかり
二本の鉛筆は、ころころところげて音をたてました

講談 妖刀流轉（えうとうるてん）
(35) 邑井貞吉演　佐々木令嗣吉書

仁者の隱家（七）

青山大藏大輔はお菊の方を可愛いと思へば思ふほど下郎の分際でありながらお菊の方に懸想をして云ひ寄つたといふ十內の行ひが怡くて堪りません。思ひ立つとすぐにも十內を手討にして溜飮が下げ度くて堪らない、お菊の方も口でこそは殊勝らしい事を云ふものの腹の中では自分の秘密を知られ、十內、ぱつさり片づけて貰へば世間に怖い事も心配もない道理、早く御手討になればいいと願つてゐる、酷 奴があればあるもの
やがて殿樣は手を鳴らして侍女を呼び
大『思ひ出した火急の用があるぞ表へ參つて夜詰めの者を誰にても呼んで參い』
女『はい』
と答へて侍女が奥と表の境まで參りまして鈴をふります、これは何處のお屋敷でも同じ事、大名の屋敷は皆こうなつてゐる
○『はあ』
と答へて詰合の近習が一人錠口へ出て參ります
○『何御用で御座る』
女『今晩お宿直の御近習は誰殿樣じやらつしやいます！』
○『はあ、今晩はお傍頭西條乘之進殿で御座ります！』
女『御苦勞ながら殿樣が斯樣々々の仰せ出、お取次を願ひます』
○『心得ました』
小侍が取次いだから詰合の當番西條乘之進何事かと心得て奥へ參ります
乘之進は五十を越した年配、前にも申した通り至つて溫厚篤實眞面目な人物で御座います、導かれましたのがお菊の方の部屋だ、お氣に入りの御愛妾の居間で殿樣がちれついてゐる譯ですから立派なもの、此處で御座います
大藏大輔には西條の顔を見ると眉を寄せヤレ〱飛んでもない奴が參つた、嫌な爺いの當番であつたわいと困つた顔をしたのは西條乘之進殿てより殿の御亂行を苦々しい事に思ひ、折があると御諫言を申上げてゐる、殿樣には大の苦手 それが何御用と此處へやつて來られたのでは殿樣も良心に咎める、此の爺が當番なら呼ぶのではなかつたと後悔したが仕方がありません、無理に眞面目な顔をいたし
大『コレ〱、ちと西條に內談があるによつて其方共は次に退れ』
とお菊の方を始め女達を退らせて置いて乘之進を招き
大『夜中呼びよせたのは餘の儀でない、その方これより早速に庭番十內を呼出し成敗いたせ、猶豫して相成らんぞ』
敷から棒庭番の十內を成敗いたせと殿樣が命令したから、西條乘之進も一寸驚きまして
西『恐れながら突然の御意如何なる罪科あつて御成敗を受けまするや、この段承り度う存じまする』
と問いた
これが乘之進の確固してゐる處で、外の若侍だとこゝまで突込めない、殿樣の云ひつけは善惡に拘はらずへいといつてお受けをしなければならないものと極つてゐた時代だ、それは何故で御座いますなど聞返さうものなら無禮者奴つとすぐに叱られる、聞返すだけの押しは利きません。然し西條乘之進一應尋ねて見ない事には安心がならない、調べて見て眞理な事なら主君の命令だから背きはしないがもし間違つた事なら面を冒してお諫めしなければならない、況んや事人命に係はること、忽には出來ないから乘之進が聞いたのです

鐵道省指定記念
小名濱……湯本間乘合自動車無料乘車券サービス



小瀧へ!!!
◇宿泊料 1.50 2.00 2.50
（御滯在は左記料金にて中食料をふくませます）
◇日歸浴席料 .20
◇自炊料 .50—.80 ｛入浴料・室料 夜具料一切｝
◇料理一定食 .80 1.00 1.50
（その他一品料理洋食）
◇湯効 神經痛・リウマチス・胃腸病 痔疾・婦人病・逆上・中風肥・胖病
（內務省東京衛生試驗所檢定濟）
◇諸設備 撞球臺・高級ラヂオ・大廣間 讀書室・近代式浴場と洗面所・水洗式便所 小動物園・タクシー部・御子樣運動器具
◇名物 川魚料理（うなぎ・鯉）蜂密羊かん
◎女中數名入用◎
常磐線湯本驛 小瀧鑛泉
御旅館 御自炊 瀧の湯
電話（小名濱）103番

乘車券は小名濱馬目自動車店、西野屋自轉車店、湯本驛前丸本、矢內自動車店に御座います。三人樣以上はハイヤーをサービス致します。何卒御利用下さい。

恐るべき中風、腦溢血を速治せしむ
アイヨー錠
血壓を下げ、血管若返り、中風を全治し、早老及老衰を豫防す。
中風の原因は血管の硬化にあり血管硬化すれば血壓高まり精神的並に肉体的に退行現象を生じ所謂老年病を誘發し或は中風腦溢血を突發す。
アイヨー錠の應用は血管に若返り現象を與へ老衰の進行を緩徐ならしめ初老及中老期に隨伴する總ての不快症を除去し中風を豫防す。
動脈硬化症、高血壓症、初老期に於ける体力及精力減退、中風、腦溢血の豫防に常用すべき貴重藥
百四十四錠（八日分）弐圓　四百八十六錠（廿七日分）六圓
千八百錠（百日分）弐拾圓
專賣店 山野邊藥局 平町五丁目（電呼六六八）

おでん 一平（イッパイ）
電話二六三番

酒とマヅイ おでんの榮ちやん
平町田町花ノ里
電話三三番

和洋 建具 家具 テーブル 椅子
其他裝飾品一般……
御用命は迅速に御努め致します。
諸官衙 各學校 御用達
製作販賣
平町五丁目四
片寄製作店
片寄小彌太
電話四八四番

產科 婦人科 外科 藥局
院長 木村寅次郎
醫學博士 內木宗八
藥劑師 大岩俊雄
入院隨意 病室完備
平町新川町十九番地
木村病院
電話一六四番

內臓外科一般
外科花柳病科
（入院隨意）
平町六丁目（橋際）
木村外科醫院
電話三〇九

耳鼻科 咽喉科 專門
（入院隨意 病室完備）
平町南町一六番地
大和田醫院
電一七〇番

生徒募集
平陽女學校
文部大臣認可
一、本科一年（二ヶ年卒業）五十名
一、技藝科一年（二ヶ年卒業）五十名
一、專攻科（一ヶ年卒業）二十名
一、各科二年（補缺入學）若干名
一、科外生 1洋裁科 若干名 2タイピスト養成科 若干名
一、入學願書提出 三月三十一日迄
一、新學期開始 四月一日ヨリ
一、學入學內書御申込により差上げます
平町 電話四四五番

生徒募集
（學則入要ノ方ハ本校ニ申込マレタシ）
第一學年 壹百名
第二學年 若干名
受驗科 五十名
新學期 四月五日
出願期日 四月五日
特設受驗科（各種受驗ノ希望者ノ爲ニ）
磐城青年學校
平町城ノ山

旅舍 大幸館
電話下谷(83)六七七番
東京上野驛前 下谷郵便局横通角
私は平町出身ですから特に郷里の皆樣方の爲めに御便宜を圖ります
主人 比佐棟雄

良品廉賣に勝る商略なし
磐城セメント特約代理店
和洋銅物 金物問屋
(久) 釜屋商店
磐城國平町五丁目
電話九番 九九番
振替貯金口座 東京一〇九五六番
確實敏捷は(久)の生命なり

◎十二指腸虫寄生症
診候 此虫が腸内に寄生せば十二指腸病を起し初めは身體が非常にだるく次第に貧血して一種特別の青白い顔色になり唇爪までも血色を失ひ或は爪の甲が反對に灣曲し、いき苦しく動悸亢進し、頭痛、耳鳴り等を覺へ水はれ、胃腸部の苦痛を訴へ萬事倦怠、神經抑鬱、食氣不振となり勞働は勿論階段登り水汲等も出來なくなり段々衰弱します。
方名十二指腸虫藥黃疸腸病丸
家傳……十二指腸の靈藥
斷食も下劑もいらず苦みも疲れもせずになほる驚く程偉大の効あり
◉心臓病、貧血病、黃疸病にも特効あり
本劑にて忽ち顔色櫻色になり元氣恢復し三週間服用せばキット全治す躊躇せず服用し健康體となられよ
◉ハガキにて御申越し次第代金引換小包郵便にて直に發送す 一週間分一圓十錢
特約販賣店 常磐線植田町 安田屋藥局 電話一三〇番

方針確立の

明朗氣分を漂はせ けふ平商業校卒業式

輕翼に勇む巣立ちの八十三名

平商業學校第十七回生八十三名に對する卒業證書授與式は既報の如く今十二日午前十時より擧行されたが卒業生の志望及び就職別は既報の如く改に夫々確定的に方針が濟んでゐる丈けに他種校に見る事の出來ない一種の明朗さを漂はせた、而して、之を町村別に見ると左の如く之亦他校同樣通學の便宜關係から平町が二十七名と云ふ絶對多數で反面に躍進的商業都市たる事を物語つてゐる

平町二七　內郷一二　湯本　江名各五　神谷　赤井　大浦　植田各四　飯野三　小名濱　關本　好間　四倉各二　錦　勿來　磐崎　玉川　草野　高久　平窪各一

は本郡では小名濱町、縣ではこれに對し凶作義捐金を補助する

優良吏員表彰 税務振興會で

石城稅務振興協會役員會を來る二十二日頃開き豫、決算を附議、總會の日取りを決定する、總會には優良町村吏員を表彰する

。。。。。堤の內區長決定　平町堤の內山本證太郎氏は第二十區長に就任

。。斷水。　平町左記各區は同町新川町消火栓修繕工事のため十二日午後九時半から十一時迄斷水

南町　新川町　五丁目の一部　堤の內　立町　鎌田　五色町　禰宜町

氣溫は平年並み 急激の變化から寒い丈け

小名濱測候所の觀測 あすからまた温くなる

風！雨！一兩日來の寒波逆襲に面喰らつた噬が仰山に爆發させられて居る。未だ一ケ月の餘日はあるとは云ふものゝ些か花氣分の出鼻を挫かれた感無きを得ないが一体この陽氣はいつ迄續く事か、例によつて小名濱測候所に伺ひを立てると

—今月初旬から變態的の温暖であつた處へ一寸變つたので感度が强かつただ丈けで實は氣溫として平年並である！、今朝(十二日)岩手縣沖合に在つた低氣壓が高氣壓に押されてゐるので此の北西風となつたのであるが今晩頃から凪ぎ出し明日頃からまた温かになるであらう、云々

櫻丘學園から先生の卵十一名

女師二部合格者發表さる

適れ將來女流敎育家を目指す磐城高等女學校卒業の本縣師範受驗者二十名は過般同校新妻敎諭引率の引に出福最善を悉くして受驗したが今十二日午前九時の發表によると左記十一名が合格し受驗者間に凱歌が上つて居る

(二十四回卒業生)　鈴木よし　吉成彌生　鈴木きぬ子　黒木悦子　草野喜久子　梶原たか子　(在校生)　古市かほる　松崎文子　飯島しげ　堂山さだ　内田はつ

旅費を前貸して 積極的出稼奬勵

平、湯本兩所に百圓割當

出稼者の積極的奬勵に乘出した縣社會課では曩に出稼奬勵保護團体の設置、助成指導員の任命を行つたが、今回更に事業を擴張し凶作義捐金一千圓を支出して出稼希望者の中貧困で旅費の調達が出來ない氣の毒な人々が多數あるのでこれ等の人達のため旅費の前貸資金に充當、無利子で旅費の實費を前貸する事になり十日資金の制定を發表したが一千圓の中現在の五職業紹介所に四百圓を割當て、このうち

平—六十圓　湯本—四十圓

を割當てる事となつた、前貸を受けるのは志操堅固なものなら誰でもよい譯で最寄の紹介所に願出て前貸を受られる事になつて居り頻る時宜を得た企として出稼者間に喜ばれる事であらう

尙今後新設見込みのものとである

更生は先づ雞から

—好間の養雞熱旺ん

『更生計劃は先づ雞から…』と養雞事業に力こぶを入れてゐる好間村ではこれが組合を結成同村馬場地內に育雞場を建設第一回分として八百羽を飼育してゐたが愈よ成育したので昨十一日村役場で許議員會を開き配給其他今後の方針を協議、更に來る十八日は縣種雞場長田中技師を招き講習會を開く

來月上旬には千二百羽を育雞し全村二百戶に養雞事業を普及する方針であると

植田町役場新築決定

一萬四千圓の豫算通過

去る九日より三日間に亘り審議中であつた植田町豫算町會は昨十一日原案に對し若干修正の上滿場一致六萬八百九十一圓を可決確定したが新豫算中には役場改築費一萬四千圓が計上されてあり設計は大体五十坪の總二階建で躍進植田町に相應しい建物が出現するとのこと

捕賊表彰

柴田署長から

平署菊池部長刑事、永田刑事は既報日本刀泥の兵庫縣生れ佐藤辰次を、湯本駐在小島、宗像兩巡査は茨城縣荒しの四犯男渡邊次男を逮捕した廉により昨十一日柴田署長から夫々金一封を添ら表彰された

豆ニュース

簿記講習會 一般の來聽を歡迎

平商工會主催商工業組合簿記講習會は明十三日午後一時より午後四時迄、十四日午前十時より午後二時迄平商業學校敎室に於て同校大津敎諭を講師として開催一般の聽講を歡迎すると

木工講習會

平建具指物業組合主催の木工製作講習會は場所を平商業學校內に變更して既報の如く昨十一日から十日間の豫定で開かれた、講師は縣針谷技手、受講者三十餘名、來る十五日からは仙臺並に商工省から專門の講師が來平する

俵二十錢高 昨日の俵米共販

石城販聯の俵米定期共販は昨十一日行つたが相場左の如く前回に比し俵當り二十錢高

平一號一一、八三　神谷一一、七九　小川一一、八三　草野一一、七二　平窪一一、七二　勿來一一、七二　大野一一、八八　飯野一一、七三　平二號一一、七八

家禽ペスト 平町で注意喚起

平町では縣からの通牒に基き明年六月來關西方面に蔓延してゐる家禽ペストの豫防に當つてゐる、同病は鷄等にも喰ひ入る養鷄家の敵若し發生の場合は警察署と役場に屆出で至急檢診を受けられたいと

雨で縣道崩壞

上小川地內交通杜絶

上小川村上小川地內縣道小野新町—平線は昨十一日の雨で地盤が緩んでゐたが午後二時頃傍の斷崖の石垣(長さ七米巾三米)が崩壞して交通杜絶した、平土木監督所から人夫出動復舊工事を急いでゐるが今十二日一杯には復舊するものと見られる

事業資金借入 預金部で受付

昭和十二年度公共團体普通事業資金の借入申込み期限は今月末、目下預金部仙臺支部平出張所でこれが申込みを受付けてゐる

入場客三萬五千

書入れの舊正月に 映畫館ニコ〳〵顏

書入れの舊正月だつた平署管內六常設館去月中の入場客は[illegible]入二四、二一三名　小[illegible]〇、八五一名　計三[illegible]〇六四名[illegible]收入五千五百八十三圓二十九錢で前月に比し二百五十九圓五十九錢の增額に何れもホク〳〵顏だ　入場者は世界館の大人六千六百四十三名、小人四千八百八十六名、計一萬一千五百二十九名が管內一で平舘の八千百八十五名(大人六、三六七名、小人一、八一八名)がこれに次ぎ、收入では平舘の千八百六十五圓十七錢が筆頭でお次ぎが世界舘の千六百七十一圓三十二錢である

天氣豫報(小名濱測候所發表)

今晩も明日も北西の風　晴

偽名して登樓

藝者を引き連れた 只飲み二青年捕る

湯本町三函酒商榮重長男大井川知三(二九)茨城縣助川町旭町鐵道員美正長男石川敏雄(二九)=何れも假名=の兩名は遊びづきの處から中等學校を二年で退學した不良青年、十一日夜も湯本町藝妓屋千代よろず方の藝妓トンボ事秋山フク(一八)とオチヨコ事佐藤スミ(一六)の兩名を引き連れてハイヤーを飛ばし、小名濱町料理業湊屋方に偽名して登樓、サンザン遊んだ揚句支拂ひに窮したので大井川は石川を人質にして金策に出かけたが埒まらぬので電話で石川に話し、石川は家人の隙を見て便所から逃走せんとした處を平署員に捕はれ、取調べの結果同樣手段で數件の只飲みを自白した

肥料講習會 平町で

は縣からの通牒により來る十八、九の兩日三重縣津市社會事業會館で開かれる自給肥料講習會の出席者を受付けてゐる、受講希望者は十五日迄その住所、職業氏名を東京市赤坂區溜池町大日本農會迄通知の事

。。。。。產馬組合區長會　石城產馬畜產組合區長會を一昨十日午後一時から平團体事務所に開き新豫算其他を附議

判決二つ

神樂打ち中植田町で木炭等を盜んだ宇都宮市生れ小川幸太郎(三九)は今十二日平區野木判事から求刑通り六ケ月、又植田八幡神社の御板泥宮城縣生れ菅井隆(三四)は今十二日平區で懲役一年(求刑一年二ケ月)の判決

お、！見えるぞ

待望の開眼手術を受けて 安齊さんの喜び

『光の世界』を描きながら開眼手術の先發五名は既報の如く縣社會課の斡旋で此程新潟醫大に赴き熊谷博士の手術を受けた、この模樣を視察のため出張した同課小林屬の話しによれば五人共非常な好成績で開眼は確實の保證がつき取り分け內郷村安齋惣太郎さんの如きは手術を行つた翌日になつて醫師が繃帶をとると『おゝ見える、見える、先生さまの顏も、看護婦さまの顏も見える、嬉しい、有難い！』と雀躍りしての大喜だ暗から光明へのその一瞬こを劇的場面であつたと云ふなは來月二十日には第二回目五名を入院させ續いて順次五名宛送る豫定であると

除隊

平町材木町片島好、同南町小林孝悦兩君は奉天小田部隊(步兵)を除隊し十三日午後一時五十二分平着下りで歸鄉する

。。。。。上遠野村議視察　上遠野村々會議員十二名は一昨十日二泊三日の豫定で東京方面の自治視察に出發した

人絹の鼠賊

犯行十件送檢さる

錦村上中田字落合五三番地居住大沼郡藤川村大字藤家館五三生れ大竹吉松(三五)は昨年八月頃人絹工場に雇はれ中本年二月迄前後十回に亘り同僚より金錢衣類並に腕時針を竊取し遊興に費消してゐた事發覺此程植田署で取調べの上十日送檢

。。。。。小名濱豫算町會　小名濱町の豫算町會は來る十六日午前十時から開かれる

暴行三人男 好間村

北好間字椎木平坑夫增子泰(三四)同村岡本正範(三〇)同四家喜雄(三〇)の三名は十日夜泥醉して同村料理業好樂亭に暴れ込み雨戶を蹴破つたり只酒を飲んだりして平署に檢束

御祝儀詐欺に即決で六ケ月

百圓紙幣で釣り『御祝儀詐欺』をやらかした安積郡赤津村字北生れ前科六犯宮島松三郎(五二)にかゝる公判は昨十一日午前十時から平區中島判事係り櫻井檢事立會で開廷即決懲役六ケ月を言渡された

。。。。。只飲み男送檢　既報—湯本町料理業福榮亭方で遊興逃走した上遠野村瀧坑夫會田一(三二)は同樣無錢飲食數件を自白して今十二日送檢

小松氏長逝 植田町

小松留次郎氏は宿阿の顏面癌のため東京巢鴨康樂病院に入院中十日午後六時三十分永眠したが、同氏は消防組小頭、三業組合長、武德會分會幹事、町振興會委員大字評議員等あらゆる方面に亘つて町の爲め努力した人、本年四十五歲、一般より惜まれて居る

×…………×
：春の題話：
×…………×

平町禰宜町一四雜行商大橋藤助(六三)爺さん、年は年でも春ともなれば……此程安達郡白岩村藤井ヨシ子(三六)さんとの緣談が纏り『お前九十なら……』の屆けをけふ町役場へ—

十三日 潮(小名濱測候所發表)

滿潮　前四、三〇　後四、四五　干潮　前一〇、四〇　後一一、〇〇

舊二月一日　土曜　己亥　友引　成　女宿　新三月十三日

諸判定總本部　東京市本鄕區湯島四丁目　高島易斷總本部　神誠館

▲一白　家事に親しみ僞富ある可らず外出は凶なり▲二黒　得る所小なりとて輕視せずあかざるが勝ち▲三碧　前門の狼を逃れて後門の虎に迫らる如き日▲四綠　計謀はあれど資力に乏しきが如き日輕進凶▲五黄　獨斷獨行は過誤失策多し善行を容れて進め▲六白　逸る心を厭へ定業を守れ旅行轉宅何れも凶▲七赤　福德身に備ふ感運の日相談事亦調ひやすし▲八白　日和續きの海上を小舟にて乘切るが如き日▲九紫　朝からの幸抱も雜魚一疋釣上げ得ぬ如き日

廣告

磐城名物 靈峰羊羹 小川郷驛前 平屋賣店

昭和十二年三月二十日(舊二月八日)ヨリ七日間
東北本線 竹駒神社初午大祭
御神輿渡御 初日 三月二十日舊二月八日 中日 三月二十三日舊二月十一日 雨天ノ際ハ末日

新築落成
外科(內臟外科及一般外科)
X光線科、花柳病科
內科、小兒科
(自炊ノ便アリ 病室完備)
岩手醫學士 萬波勳
院長 前田清美
前田醫院 植田町本町電話一二四番

新築落成
山田屋旅館 植田町 電話八番
藝妓屋 山田家
喜久榮　小舟　國助　のんき　小鈴　君香　一太郎　五郎　今子　愛子　つぼみ　〇丸

亡夫留次郎儀送葬の際は御多忙中御會葬被下且御鄭重なる御香奠を賜り御厚志の段奉深謝候乍略儀以紙上御禮申述度如斯御座候
三月十二日
石城郡植田町 小松ワカ
親戚一同

品質第一 電話二六八番
平牛乳舍 平町・九品寺前

眼鏡 豐富に取揃へて御座います (亂視用眼鏡即時調製)
メガネは正確にして廉價 最新式各國製レンズ
根本時計店 平町二丁目 電話六〇七